

# HJ-2017

## 取扱説明書

家庭用

家庭用商品を学校、スポーツジム等不特定多数の方のご利用になる場所ではご使用にならないでください。  
保証対象外となります。



本電動トレッドミルのお使いになる前に必ず取扱説明書をよくお読みください。  
また、お読みになった後は、必要なときにいつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

使用体重制限は 100 kg 電源AC100V 15A 50/60Hz です。

連続使用時間は 60 分以内 1 日 3 時間使用で設計してあります。

# 目次

● 目次	P1
● 安全上の注意	P2～P5
● 各部の名称	P6
● パーツ部品	P7
● 組み立て方法	P8～P9
● トレーニング前の確認	P10～P11
● 本体機能説明	P12
● モニター説明	P13
● 操作説明	P14～P15
● プログラム内容	P16
● エラー内容	P17
● 走行ベルト調整方法	P18～P21
● メンテナンス	P22
● トラブルシューティング	P23～P24
● 展開図	P25～P26
● 商品仕様書	P27
● 保証書	P28

# 安全上のご注意 1

## お使いになる前によくお読みください

- ここに示した警告サインと図記の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内容
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害☆の発生が想定される内容を示します。

☆物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例	
	△記号は注意(警告を含む)を表示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“感電注意”を示します。
	⊘記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。
	●記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“一般的な強制”を示します。

 <b>警告</b>	
本機は、健康な人を対象とした商品です。心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風、妊娠中のかた、その他病気や障害のあるかた、リハビリを目的とするかた必ず医師と相談のうえ使用してください。	
・事故や体調不良をおこす原因となります。	
運動中、身体に異常(めまい、冷や汗、吐き気、脈拍の乱れ、動悸など)を感じたときは、ただちに運動をやめてください。	
・健康を害する恐れがあります。	

 <b>注意</b>	
運動前のウォーミングアップ、運動後のクールダウンは必ずおこなってください。	
・健康を害する恐れがあります。	
日頃、運動していないかたは、徐々に運動強度を上げるようにしてください。	
・ケガや健康を害する恐れがあります。	
飲食後や疲労時、運動直後、または体力の状態が平常でないときは、運動をおこなわないでください。	
・健康を害する恐れがあります。	

### ●本機を安全に使用していただくために必ず守っていただきたいこと

 <b>注意</b>	
本機は、取扱説明書に従って正しく使用してください。	
・ケガをする恐れがあります。	
ベルトが一方に片寄ってきたり、はずれそうになったときは、使用を中止し、ただちにベルト調整ネジで調整してください。	
・ケガをする恐れがあります。	

 <b>注意</b>	
ご使用前に、ベルトに亀裂や摩擦などの変化がないか、接地部のがたつきや、ハンドルなどの接合部に異常がないか確認してから使用してください。	
・使用中に破損すると危険です。	
乗降する場合などにハンドルにもたれかからないように、注意してください。	
・転倒やケガをする恐れがあります。	

## 安全上のご注意 2

 注意	
<p>運動に適した服装で使用してください。回転、駆動部に巻き込まれる恐れがあるため、ひも類のない服装にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> <li>・衣服を損傷する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機は、運動に適した靴を履いて使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>トレーニング中は必ず安全キーを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故を誘発する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ベルト幅の中央を歩いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルトの端や左右に片寄って歩くとベルトの片寄りや摩耗、破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>動かない場合や異常を感じたときは、使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、本社お客様サービスセンターへ修理の依頼をしてください。(電話番号 052-501-2577)</p>	
 注意	
<p>最大使用体重は 100kg です。体重が 100kg を超えるかたは使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用中、破損する恐れがあります。</li> <li>・安全装置が作動し、ベルトが急に停止する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>同時に 2 人以上で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機は、別の用途に使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>走行中、歩行デッキに飛び乗ったり、飛び降りたりしないでください。また、トレーニング中に本機を動かしたり、周囲の人が使用者を押ししたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の誘発や転倒の恐れがあります。</li> </ul>	
<p>トレーニング中、ベルトの走行方向に対し逆方向につっぱったり、足をひきずるような歩行はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルトに無理な力がかかり、安全装置が作動し、ベルトが急に停止する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ベルト調整中はベルトに触れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>分解や修理、改造をおこなわないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発火したり、故障や事故の原因となります。</li> </ul>	

## 安全上のご注意 3

 警告	
<p>保護者のかたは、お子様が本機で遊ばないようにご注意ください。</p>	
<p>本機を使用しないときは、お子様がぶらさがったり、寄りかかったりしないように注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	

 注意	
<p>お子様が保護者の指導監督なしに勝手に使用しないようご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	

### ●設置や移動するときに必ず守っていただきたいこと

( テレビ等電磁波の発生する機器より 2メートル以上離れた場所に設置してください。 )

 注意	
<p>乗り降りや運動に十分なスペースを確保してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の誘発や転倒の恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>水平な堅い床の上に設置してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒してケガをする恐れがあります。</li> <li>・本機が沈み込み、畳、じゅうたんにベルトがすれて損傷したり、摩擦熱で発火、発煙の恐れがあります。</li> </ul>	
<p>表示ユニットを取り付けている固定用ネジやスタンドの取り付けネジが確実に取り付けができていないか、また、調整部が適切に調整されているか、必ず確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネジがゆるんだまま本機を使用すると、ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機の下に破れにくく、滑りにくいシートなどを敷いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機がシートの上で滑り、転倒してケガをする恐れがあります。</li> <li>・床面を傷つけたり、汚したりする恐れがあります。</li> </ul>	
<p><b>電源プラグや電源コードは濡れたり燃えやすい物が近くにあることを確認して使用してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感電、発火の原因になります。</li> </ul>	

 注意	
<p>設置や移動するときは、電源プラグを抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感電する恐れがあります。</li> <li>・事故の誘発やケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>歩行デッキを折りたたむときや倒すときは必ずデッキの後をもってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の誘発やケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>屋外や浴室付近、湿気やホコリの多いところ、水滴などがかかる場所には設置したり保管したりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感電する恐れがあります。</li> <li>・さびが発生したり故障の原因になる恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ベルト面が直射日光にあたる場所や、高温の場所には設置しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルト劣化の原因になります。</li> <li>・カバー等が変形することがあります。</li> </ul> <p>本機は重量物であるため、無理な姿勢で持ち上げたり、支えたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛やケガの恐れがあります。</li> </ul>	

## 安全上のご注意 4

### ●電源の取り扱いについて必ず守っていただきたいこと

 警告	
<p>電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感電やケガをする恐れがあります。</li> </ul>	

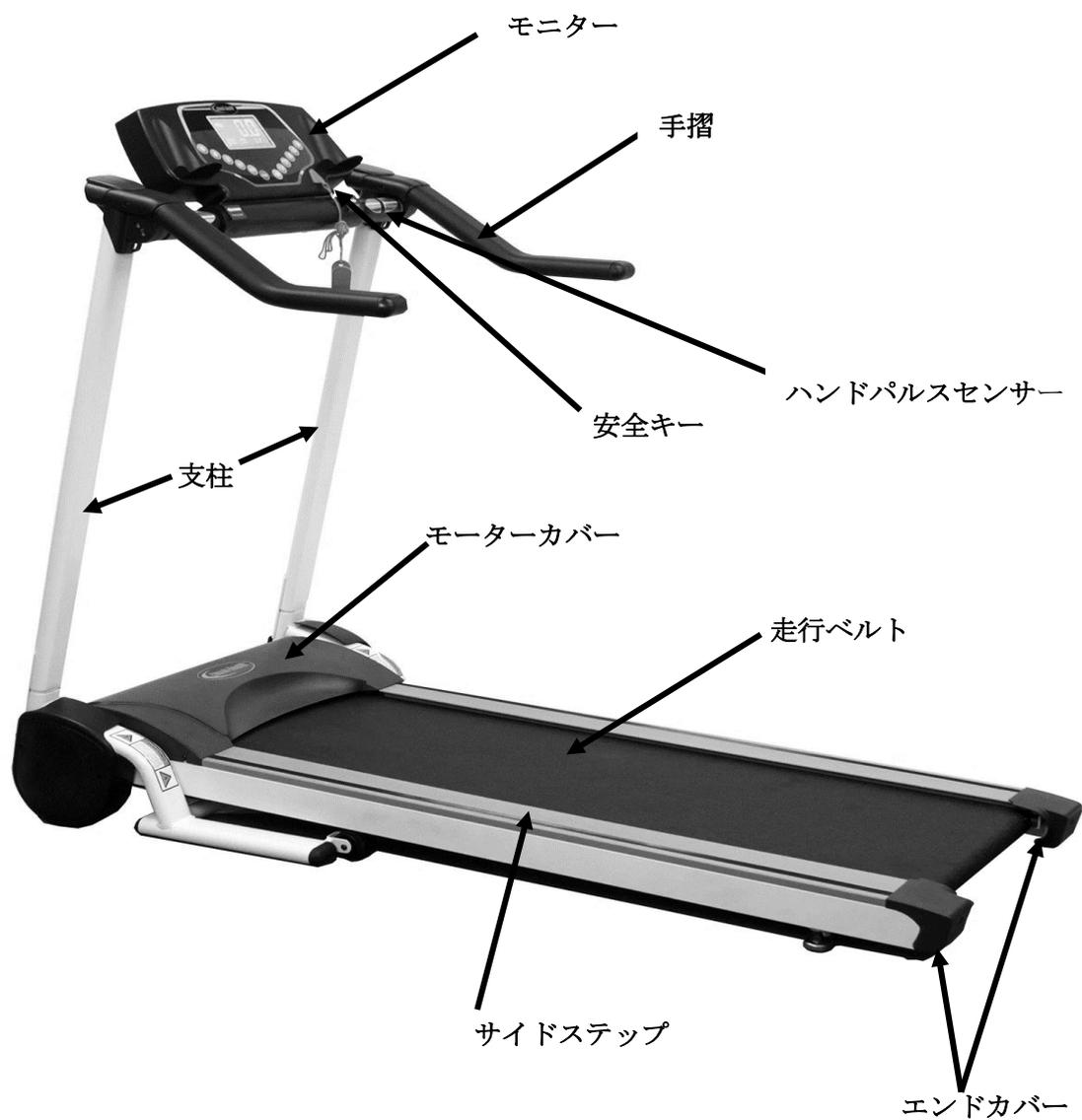
 注意	
<p>電源プラグはホコリを拭きとり、コンセントにしっかり根元まで差し込んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感電、ショート、発火の原因になります。</li> <li>使用中に電源プラグが抜けると急にベルトが停止し、ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>使用後は電源スイッチを切り、使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故やトラブルにつながる恐れがあります。</li> </ul>	
<p>電源は必ず交流 100V/20A 単独回路で使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>火災や感電の原因になります。</li> </ul>	
<p>タコ足配線は、しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>火災や感電の原因になります。</li> </ul>	

 注意	
<p>電源プラグを引き抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードが断線やショートして火災や感電の原因になります。</li> </ul>	
<p>アースは確実に取り付けてください。また、ガス管や水道管には絶対にアース線を接続しないでください。アース線を接続するときは電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>静電気や故障のときの感電防止のために、アースは必ず取り付けてください。アースの取り付けは、お買い上げの販売店、電気工事店へご相談ください。(取り付け工事は有料です)</li> </ul>	

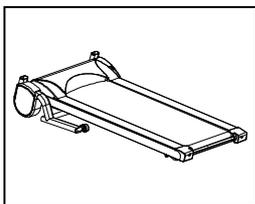
## お願い

<ul style="list-style-type: none"> <li>本機を火気あるいは熱源の近くに保管しないでください。</li> <li>本機の表示ユニットは精密な電子部品でできています。移動するときなどに衝撃を与えたり振動の加わる場所での使用は避けてください。(動作が不安定になったり破損する場合があります。)</li> <li>本機の使用環境温度は+10~+35℃です。この温度範囲外での使用は避けてください。(故障の原因になります。)</li> <li>運動中は、たばこを吸わないでください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機を廃棄するときはお住まいの市区町村の指導に従って処分してください。(環境汚染の恐れがあります。)</li> </ul>
--	--

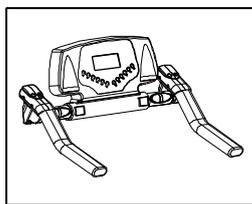
# 各部の名称



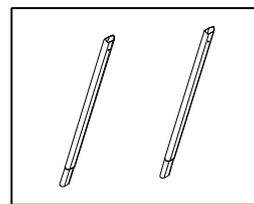
# パーツ部品



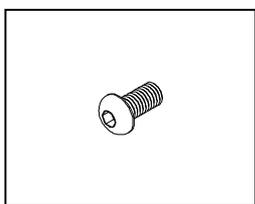
本体



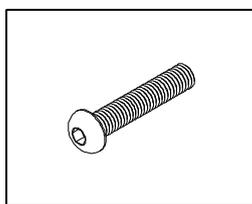
モニター



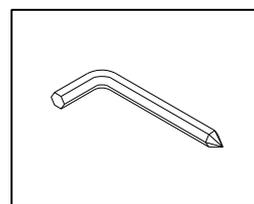
支柱



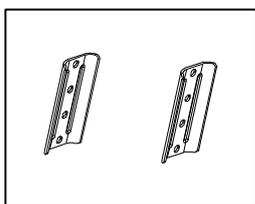
No.①  
ボルト  
(M8×16L×10本)



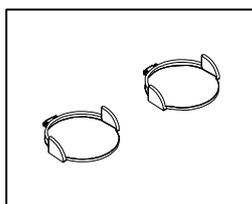
No.②  
ボルト  
(M8×60L×4本)



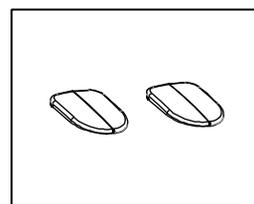
No.③  
六角レンチ



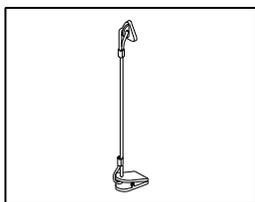
No.④  
支柱補強板



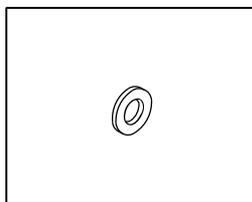
No.⑤  
ドリンクホルダーx2



No.⑥  
ボルトキャップx2



No.⑦  
安全キー

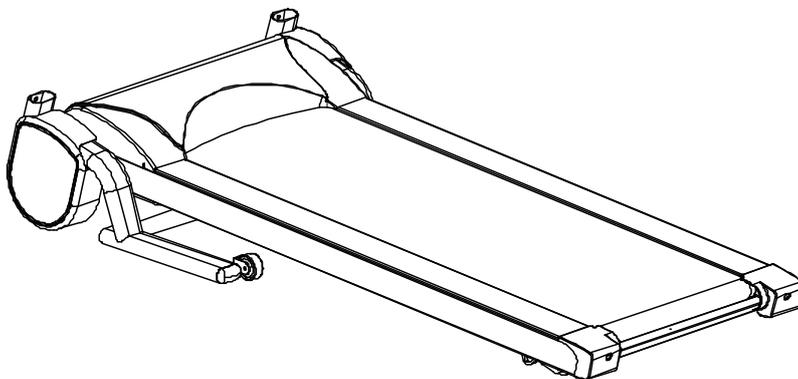


No.⑧  
ワッシャー  
(M8×8枚)

# 組み立て方法

## STEP1

本体を出して平らな床に置きます。



## STEP2

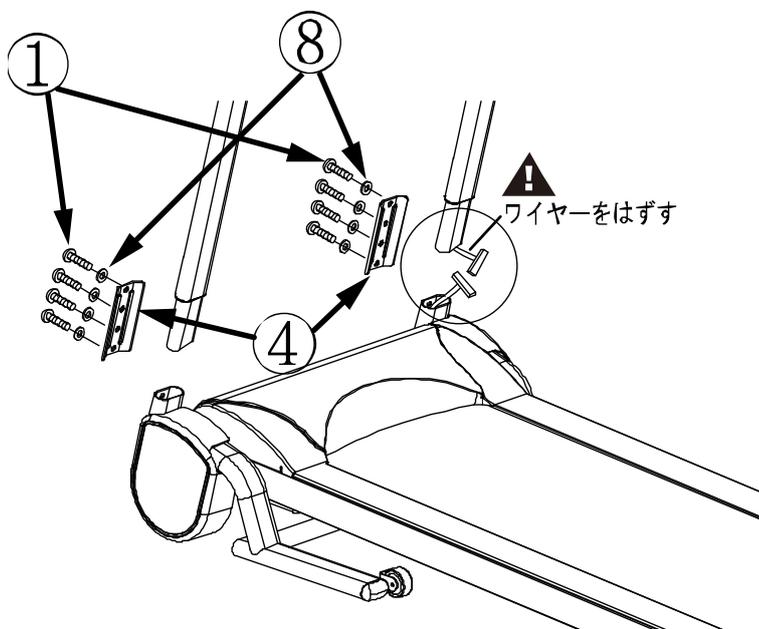
支柱に通してあるコードを本体から出ているコードと接続し  
コードを傷つけないよう支柱を本体に差し込みます。

注意 コードを挟み込まないでください。

No.④の支柱補強板を図のようにかぶせて

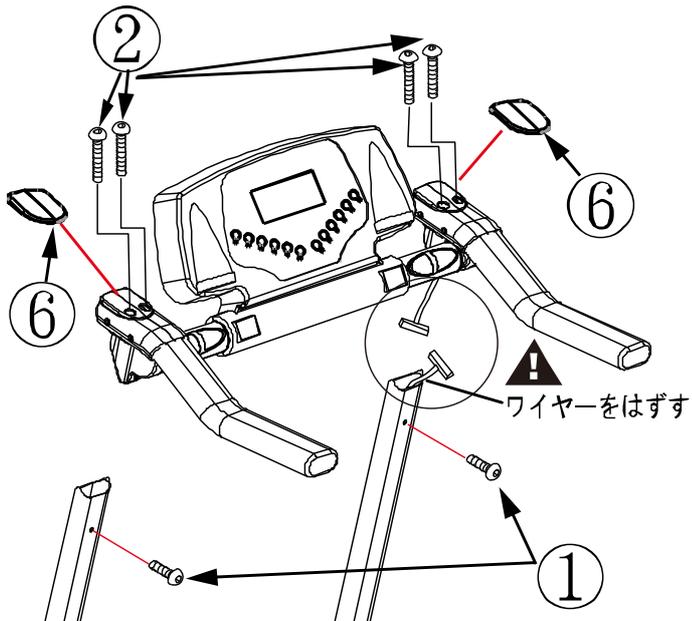
No.①のボルト M8×16mm (8本) / No.③のワッシャー M8 (8枚) を

No.③のレンチで固定してください。



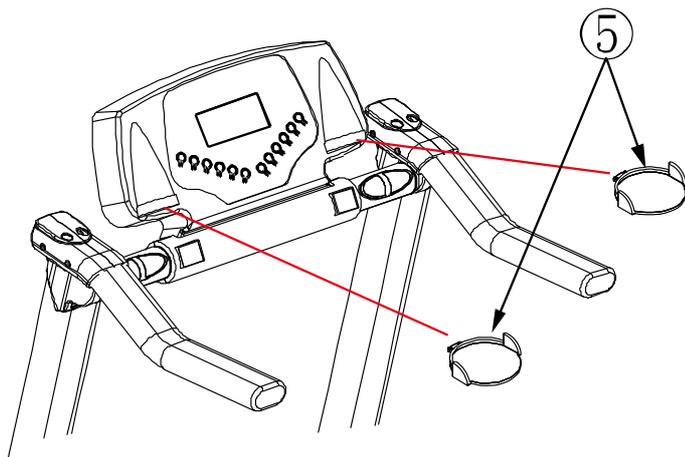
### STEP3

支柱に留められているワイヤーをはずし  
メーターから出ているコードを、支柱に通してあるコードと接続します。  
注意 コードを挟み込まないでください。  
No.①のボルトM8×16mm (2本)とNo.②のボルトM8×60 mm (4本)を  
No.③のレンチで固定してください。  
No.⑥のキャップを左右にはめ込んでください。



### STEP4

No.⑤のドリンクホルダーをモニターの左右に差し込みます。



## トレーニング前の確認

トレーニングを始める前に次のことを確認してください。

※日常のトレーニング前にも以下の手順で確認を行なってください。

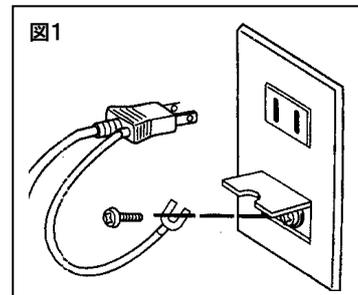
### 1 アースを取り付ける

安全にご使用いただくためにアースは必ず取り付けてください。(図1参照)

コンセントにアース端子がある場合、付属のアース端子を確実に取り付けます。

※アース線を接続するときは電源スイッチを必ず切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

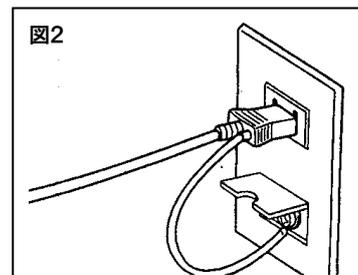
※コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。



### 2 電源プラグをコンセントに差し込む

AC100 20A 単独回路にて使用してください。

※ 延長コードを使用する場合は、3m(メートル)以内、1500W(ワット)のコードを使用してください。



## トレーニング前の確認

### ● トレーニングをする服装について

運動に適した服装をしてください。また、ひも類のない服装にしてください。

例) 静電気のおきにくいトレーニングウェアなど

① 長い髪の毛は束ねてください。  
※転倒したとき、髪の毛などがベルトに巻きこまれるとケガをする恐れがあります。

② 安全キーのクリップを衣服に取り付けてください。  
※たるみの多い衣服にクリップを付けていると緊急時に安全キーが外れにくいので、紐の長さを調節し、なるべくたるみの少ない部分にクリップを取り付けてください。

③ 運動しやすい靴を使用してください。

注意！！

スリッパや草履は脱げやすく転倒しやすいため、必ず靴を履いて運動を行なってください。

靴裏にローラーがあるものも禁止！！



※画像は実際の商品とは異なります。

### ● 準備・整理運動をする

トレーニングの前には準備運動を、終わった後には整理運動をしましょう。

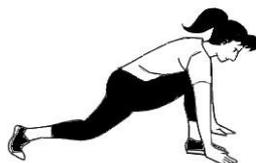
※トレーニングの前と後の準備・整理運動(ストレッチ)は、筋肉の緊張をほぐし、筋肉疲労を早く回復させます。細く長く息を吐きながら、下図を参考にしてストレッチをしましょう。



肩と体側のストレッチ



股関節のストレッチ



太股のストレッチ



ふくらはぎのストレッチ

# 本体機能説明

## 走行板の折りたたみ

本体を折りたたむ時には、走行板の後方を両手で持ち本体を持ち上げます。  
カチッと音が鳴り、ロックされるまで持ち上げてください。



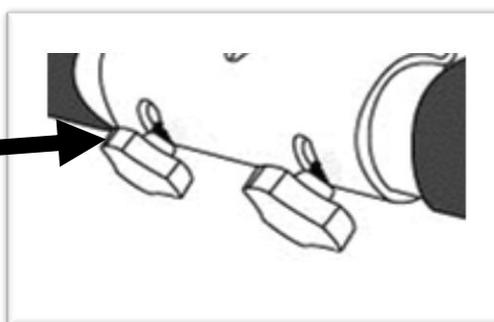
走行板を折りたたんだ状態から下す時には

1. 走行板を手で前方へ少し押し  
右図矢印箇所のロックを足で解除します。
2. ゆっくりと走行板を下ろします。



## 本体の移動

右図矢印箇所を片足で押さえて走行板後方を両手で持ち本体を手前方向に傾け、移動させたい場所に移動させます。



モニター裏側のノブで、角度調整をすることができます。両側のノブを左にゆるめ、お好みの角度に調整してください。  
調整後は右に回して固定してください。

# モニター説明



スタート	運動を開始することができます。
ストップ	運動時、このボタンを押すと走行ベルトが止まります。
速度▲▼	スピードを調節します。調節幅が 0.1km/回。 モード時の場合数値変更。
モード	モードを切り替えます。
クイックボタン	2,3,4,6,8,9 お好みの数値にスピード設定ができます。
設定	Hrc モードの場合、年齢、脈拍に設定変更ができます。 Fat モードの場合、性別、年齢、身長、体重に設定変更ができます。

Time	運動時間を表示します。 カウントダウンが 0 : 00 の時、"END" を表示し、5 秒後に停止します。
DIS	今の運動距離。
CAL	カロリーを表示します。
P	脈拍数を表示します。
SPEED	スピードを表示します。設定範囲が 0.8~12.0 km/h。設置選択の場合 H1~H4、P1~P12、Hr1~Hr2 or Fat。

# 操作説明

**運動モード** スタートボタンを押すと起動します。既定値が 0.8 km/h  
速度▲▼、クイックボタンによりスピードの調節をすることができます。

## カウントダウンモード

項目	設定範囲	既定値	単位
H1 時間	5 : 00~99 : 00	15 : 00	秒
H2 距離	0.5~99.9	1.0	km
H3 カロリー	5~999	50	kcal
H4 歩数	100~9900	500	歩

モードボタンを押して、H1~H4 を選びます。

速度▲▼ボタンで H1~H4 の中で関わる数値を設定します。

設定完了後”スタート”ボタンを押すと走行ベルトが 0.8km/h から動き初めます。

カウントダウンの設定数値が 0 になるとアラームが鳴りモニターに “END” と表示されて停止します。

**固定プログラム** (P01~P12) : モードボタンを押して、P01~P12 を選びます。

速度▲▼ボタンで時間を設定します。(時間範囲 5 : 00~99 : 00、既定値 10 : 00)

スタートボタンでプログラムを開始します。

プログラム表のどおり (TIME/10) でスピードが変わります。走っている間に速度▲▼ボタン、クイックボタンでスピードを変える事ができますが、次のセグメントに入るとプログラム表どおりの数値に戻ります。プログラム表は P16 にて説明。

**脈拍数モード** (Hr) : モードボタンを押して、Hr1~Hr2 を選びます。

速度▲▼ボタンで時間を設定します。(時間範囲 5 : 00~99 ; 00 既定値 10 : 00)

設定ボタンを押して、速度▲▼ボタンで年齢を設定します。(年齢範囲 10~99 既定値 35)

再び設定ボタンを押すと、既定脈拍数値の設定ができます。(Hr1 の計算式が (220-年齢 x 60%)、Hr2 の計算式が (220-年齢 x 80%)) 速度▲▼ボタンで設定します。選べる範囲が 70~199 回/分。スタートボタンを押すとプログラムが開始します。3km/h からスタートします。

測った脈拍率より設定数値が低い場合(5~10 以内)スピードが 10 秒ごとに 0.4km/h 上がります。

測った脈拍率より設定数値が低い場合(10 以上)スピードが 10 秒ごとに 0.8 km/h 上がります。

測った脈拍率より設定数値が高い場合(5~10 以内)スピードが 10 秒ごとに 0.4km/h 減ります。

測った脈拍率より設定数値が高い場合(10 以上)スピードが 10 秒ごとに 0.8km/h 減ります。スピード上限が 12km/h 下限が 0.8km/h です。

**体脂肪率測定モード** モードボタンを押して、FATモードを選びます。

設定ボタンを押すと性別 (F-1) 年齢 (F-2) 身長 (F-3) 体重 (F-4) の順に表示されます。※(F-1)表示の後設定ボタンを押すと(F-2)に移行してしまいます。

(F-1)表示画面の時、速度▲▼ボタンで数値を確定し設定ボタンで次へ移行してください。

全部の数値を設定完了後、設定ボタンを押すと表示画面に“----”と表示され点滅します。

この時、両手でセンサーをしっかり握って頂くと、身体体脂肪指数が測れます。

※点滅時に握らないと数値は測れません。点滅していない場合は、設定ボタンを押してセンサーを握ってください。

### 体脂肪率設定範囲

数値種類	既定値	設定範囲	付記
性別 F-1	02	01/02	1は男性、2は女性
年齢 F-2	35	10~99	単位：歳
身長 F-3	170	50~250	単位：Cm
体重 F-4	60	20~200	単位：Kg

### 体脂肪率表

体脂肪指数	肥満程度
<19	低体重
19~26	正常
26~30	肥満
>30	超肥満

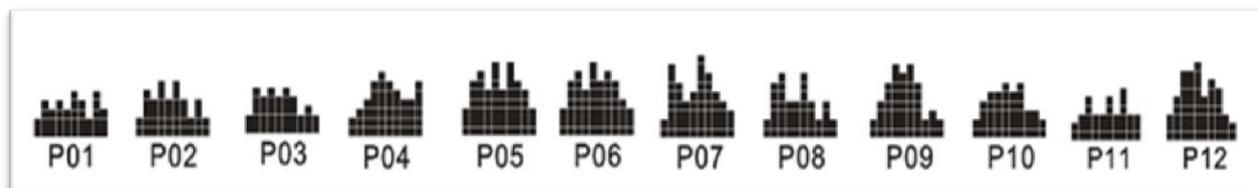
### 運動数値と設定範囲

項目	範囲	プログラム既定値	モード既定値	設定範囲
スピード	0.8~12	—	—	—
時間	0:00~99:59	10:00	15:00	5:00~99:00
距離	0~99.9	—	1.0	0.5~99.9
カロリー	0~999	—	50	5~999
歩数	0~9999	—	500	100~9900

10分以内に何も押さない場合、画面が消えます。

安全キーが外れた場合、走行ベルトが止まります。メーターが E07 を表示します。安全キーをセットすると再起動ができます。

# プログラム内容



プログラム	セグメント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	Km/h										
P1	速度	2	4	3	4	3	5	4	2	5	3
P2	速度	2	5	4	6	4	6	4	2	4	2
P3	速度	2	5	4	5	4	5	4	2	3	2
P4	速度	2	3	4	6	7	6	5	4	4	6
P5	速度	3	6	7	5	8	5	9	6	5	3
P6	速度	3	6	7	5	8	6	7	6	4	3
P7	速度	2	8	6	4	5	9	7	5	4	3
P8	速度	2	6	7	4	4	7	4	2	4	2
P9	速度	2	4	6	8	7	8	6	2	3	2
P10	速度	2	4	5	5	6	5	6	3	3	2
P11	速度	2	3	5	3	3	5	3	6	3	3
P12	速度	3	5	8	8	9	5	7	6	3	2

※ 各セグメントの移動前にアラームが鳴ります。

※ 設定時間のカウントダウン後0になるとアラームが鳴り END と表示して停止します。

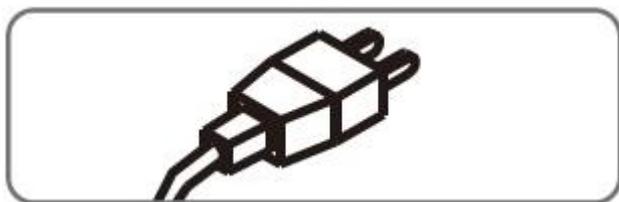
# エラー内容

表示番号	原因	対処法
E01	スピードセンサーエラー。	スピードセンサーが基盤に繋がっているか確認してください。 センサーと磁石の距離を確認してください。 センサーが外れてるかどうかを確認してください。
E04	スピード校正のエラーが起きました。 モーターカバー内のモーターや基盤の故障。	電源スイッチを切り、10秒後に電源を入れスタートさせてください。 1.ベルトは動きますか？ 2.ベルトが動いた後、10秒後にもE04が表示されますか？ 電源を入れ直しても症状が改善されなければ、ベルトと走行板の間にシリコンプレーを噴霧してください。それでも改善されない場合は販売店にお問い合わせください。
E07	安全キーがセットされていない。	安全キーをセットしてください。

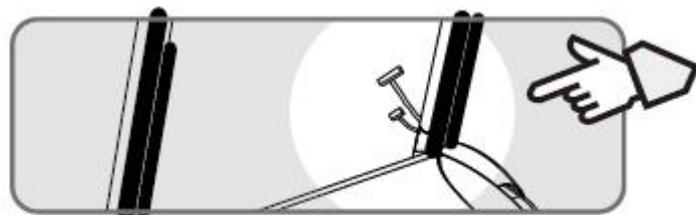
## エラー対処法

### 1.メーターが付かない場合

コンセントの差し込みを確認してください。



右支柱の電源プラグが外れたかどうか確認してください。



基盤をチェックする場合、電源プラグをコンセントから外してください。

## 走行ベルトの調整方法

### はじめに

走行ベルトは人の体重がかかりながらも回る最も重要な部分です。  
ベルトが滑りやすいように日ごろのメンテナンスが必ず必要となります。  
購入時は走行ベルトが固いため、早ければ約 1 週間ぐらいで調整が必要となる場合もございます。

### ベルト調整が必要となる症状

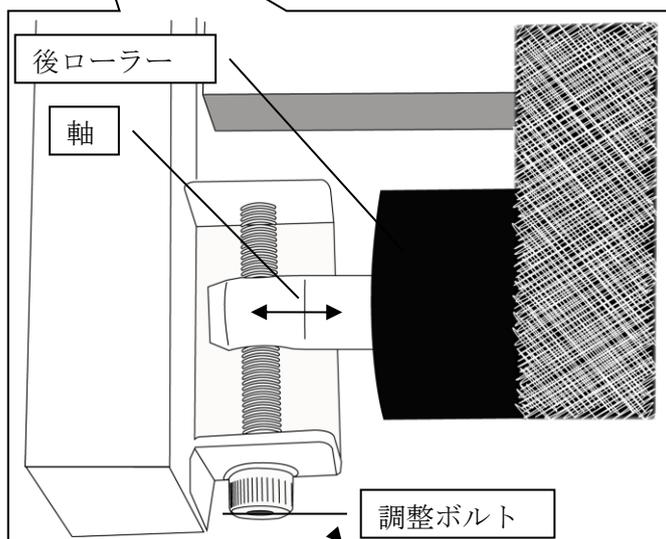
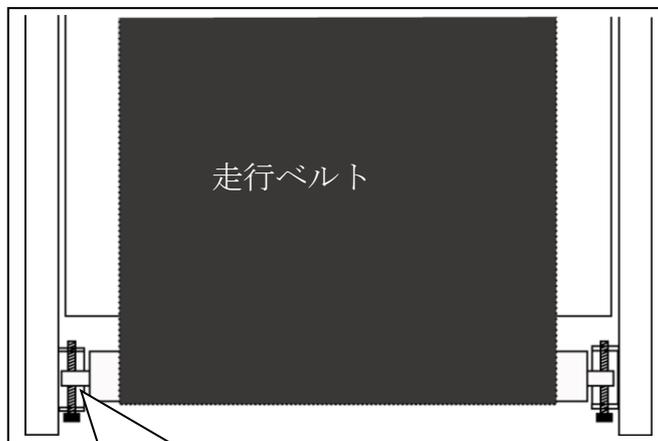
1. 走行ベルトが左右どちらかに寄っている。
2. 歩行中（走行中）に左右どちらかの足を前に着地した時に走行ベルトだけ止まるような感じがする。（スリップする）



# 1.走行ベルトが調整できる仕組みの説明

ステップ後方のカバーの中は右図のように後ローラーの左右の軸に対して直角に調整ボルトが付いています。

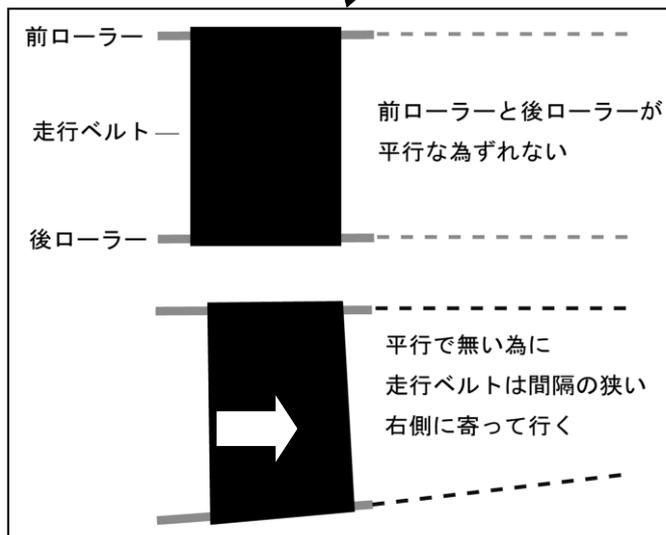
このボルトを回すことにより、後ローラーの軸にもネジ山があり、前後するような仕組みです。



前ローラーと後ローラーは上から見て平行でなければなりません。

どちらかの間隔がずれた場合は右図のようになります。

その際は寄った側の調整ボルトを回して調整が必要です。

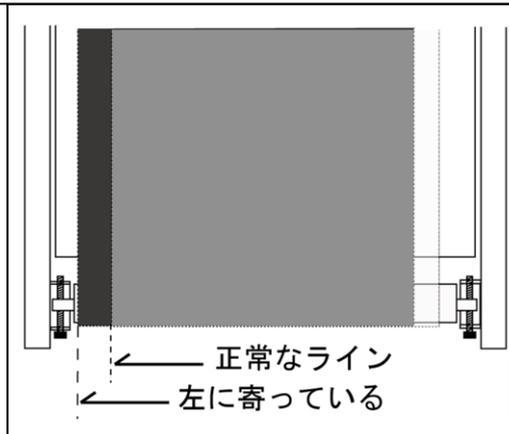


## 2. 走行ベルトの調整の仕組みの説明

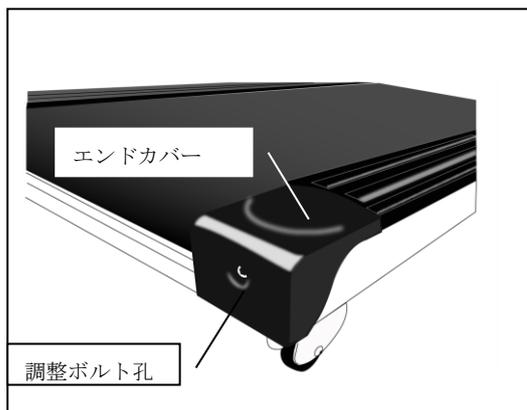
走行ベルトがずれる原因として考えられる原因

- 使用者の効き足の蹴る力
- 走行ベルトの伸び（消耗）
- 設置面の傾き

右図のように走行ベルトが左に寄っている場合の調整方法を説明します。

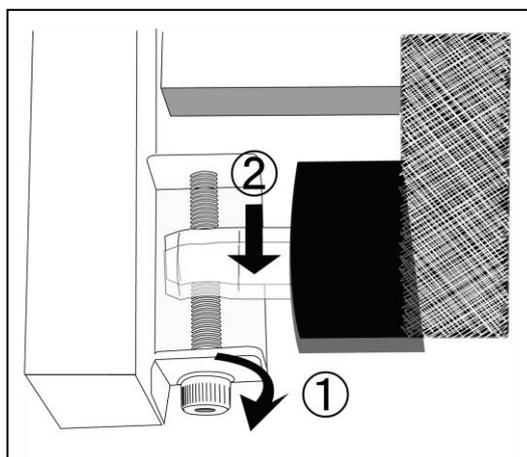


前ページで説明したように前後ローラーが平行で無い為、左に寄った場合は左側の後カバーの孔に、付属の六角レンチを使って、調整ボルトを回して調整します。右に寄った場合は右の調整ボルトを回して調整します。



右図はカバー内部の仕組みを分かりやすくするためのものです。

調整ボルト①を六角レンチで右に回すとローラーの軸②が後に下がります。



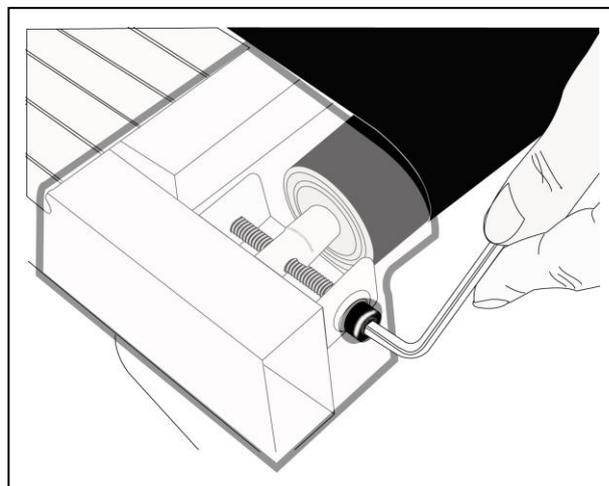
### 3. 走行ベルトの調整方法

1.

初めにルームランナーの電源を入れて走行ベルトを時速 2km/h ぐらいで動かしながら調整してください。

1 度に回す目安として六角レンチは 90 度ぐらいが目安です。

あくまでも 90 度と言うのは目安ですので実際に走行ベルトが移動するのを目で見ながら微調整してください。



2.

おおよそ走行ベルトが中心に寄ったら、時速 6km/h ぐらいに速度を上げて、人が乗らない状態で微調整を続けます。

微調整の際に逆側に寄りすぎた場合は調整ボルトを少し左回しにしたりして調整します。

3.

最後に実際に走行面に乗って、時速 4~6km/h ぐらいで走行ベルトを回し、通常よりも少し強めに踏ん張るように踏み込みながら歩行してください。走行ベルトだけが滑るような感じでしたら左右の調整ボルトを同じ回転だけ右回ししてください。ちょうど滑らなくなったところが適正の走行ベルトの張りです。



その後、通常通りの走行をしてベルトのズレを確認してください。  
異常なければ走行ベルトの調整は完了です。

## 4.メンテナンス

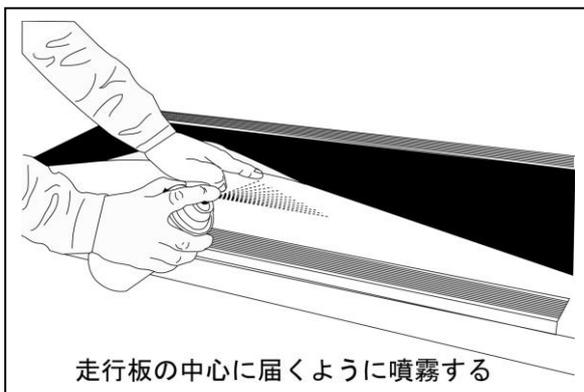
### シリコンスプレーの噴霧の方法

シリコンスプレーは必ず必要です！

走行ベルトは常に人の体重を乗せて走行板の上を滑っています。シリコンスプレーを噴霧することで走行ベルトの潤滑をしやすくしており、モーターやモーターを回すコンピューター基盤等に負担が掛からないように助ける役目もしています。家庭用ルームランナーは3～5日ぐらい、業務用ルームランナーの場合は1～3日毎で噴霧してください。

### 日ごろのお手入れ

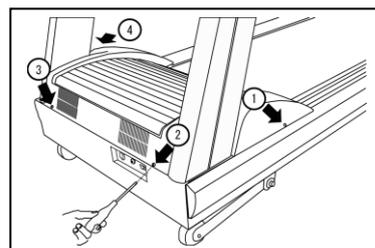
1. 走行ベルトと走行板の間に手を入れて、手の甲でベルトを持ち上げるようにします。
2. 走行板の幅の中心にシリコンスプレーが届くように噴霧します。  
走行板の全長の前から後まで移動させながら噴霧してください。
3. その後、低速スピードで人が乗った状態で走行ベルトを回して、足の裏で伸ばすように3回転ほど回します。



### 3～6ヶ月ごとのお手入れ

#### ●モーターカバー内の清掃

コンセントを必ず抜きます。右図のようにモーターカバーのネジを外してカバーを開けて、カバー内部のホコリなどを取り除いてください。  
(折畳んだ状態でネジを外すタイプもあります)



#### ●走行板の拭き取り清掃

走行ベルトを緩めて、走行板を中性洗剤を含ませ、固く絞った雑巾などできれいにシリコン、ホコリ等を拭き取ってください。拭き取り後、走行板にシリコンを噴霧してから走行ベルトを調整します。

# トラブルシューティング

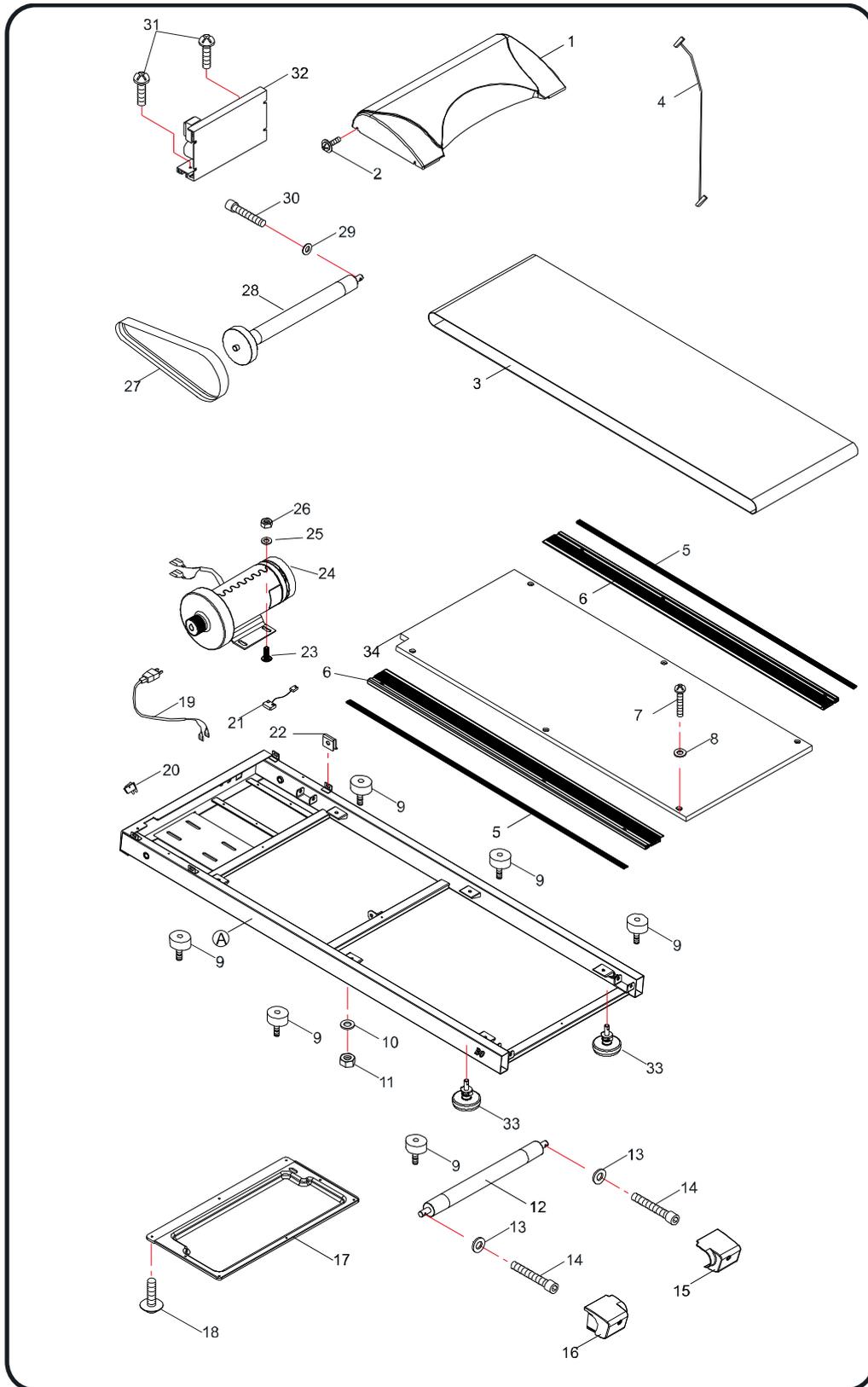
症状	確認箇所	原因・対処方法
電源が入らない	1.取扱説明書を読んで電源、ブレーカーの確認をする。 建物の電源の確認：コンセントに電気が流れているか確認 取扱説明書を読んで安全キーの取付け位置の確認をする。 取扱説明書の組立方法を見ながら接続箇所を確認する。 取扱説明書の操作手順の確認	1) 本体電源スイッチ近くに有るブレーカーのピンを指で押し込む。
1.モニター画面は点かない		
2.モニター画面は点く	2.下記の走行ベルトが動かない項目へ	2) 電源コードの破損や断線の場合は販売店に連絡。
1. 走行ベルトが動かない。	1 ) A.取扱説明書を読んで操作手順の確認 B.モニターのボタン等の破損の確認：破損の場合は購入店へ連絡	1) B.ボタン等の破損の場合は販売店へ連絡。
2. ベルトが速くなったり遅くなったりする。	2 ) A.コンセントの容量不足。 B.走行ベルトの消耗（シリコン不足）	2) . A.現在使用している建物側のコンセントのブレーカーとは違う別の回路のコンセントに繋いで症状を見てみる。 B.走行ベルトの交換 (寿命の目安 1~3 年、使用頻度が少なくともベルトが硬化してきます。)
3. 運動中にベルトが徐々に遅くなる。	3.) 走行ベルトへのシリコン不足から基盤等へ過電流が流れモーター基盤等の故障。	3) A.電源の容量不足 B.過電流で基盤等がショートした場合は部品交換の為、販売店へ連絡
異音がる	1) 異音がる箇所を特定する。 例) モーター、前後ローラー、走行ベルトなど。 A.前の方から異音 B.後ろの方から異音	A.モーター内部の損傷、前ローラーのベアリングの消耗による片減り、タイミングベルトの消耗、走行ベルトのずれ B.後ローラーのベアリングの消耗による片減り  A.B とも販売店に連絡
手すり等に触れると電気が走る ＜静電気＞	A.ナイロン系、ポリエステル系のトレーニング服を着ての運動 B.走行ベルトの消耗 C.アースが接続されていない	A.静電気が起きやすい服装で運動しない。 B.走行ベルトの交換 C.アースは必ず接続してください。  B.C の場合販売店に連絡
走行ベルトが止まる	1) モーターと走行ベルトが一緒に止まる A. モーター基盤、モニター基盤、モーター等の故障。 2) .走行ベルトのみ止まる A.タイミングベルトの弛み。 B.走行ベルトの弛み 3) 初めは動くが 5 秒程度で止まる	1) A.シリコン不足からの過電流等による故障。販売店へ連絡 2) A.タイミングベルト交換。販売店へ連絡 B.走行ベルトの調整をする 3) スピードセンサーの故障

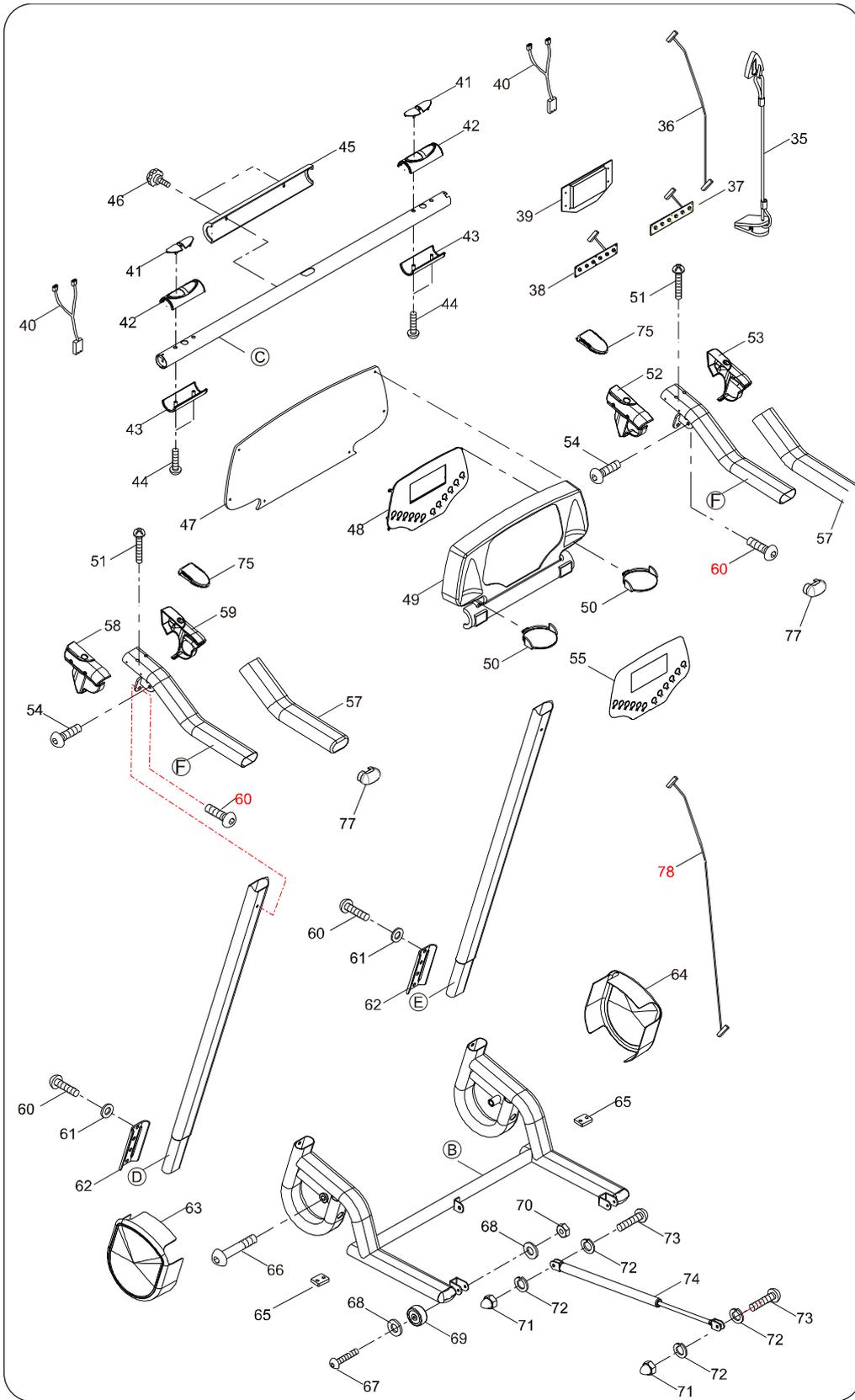
## トラブルシューティング

症状	確認箇所	原因・対策方法
走行ベルトがずれる	P 19～P 21	走行ベルトの調整、設置面の傾き
トレーニングスタート時、終了時にベルトが鳴る。	ベルトと足、もしくはベルトと歩行デッキの間で発生する「ギュッ」と言う音がする。	故障では有りません。 ベルトの滑りを良くする事や、ベルトの寿命を延ばす為に走行板と走行ベルトの間にシリコンを噴霧する。
スピード調節が出来ない	表面のシール、ボタン等の破損はないか確認	新しいフィルムスイッチに交換する。 販売店に連絡
エラー表示する。	エラー表示の番号の確認	取扱説明書のエラーの確認。 販売店に連絡。
傾斜角度の操作出来ない。	コントロールパネル操作角度スイッチボタンの消耗度合、(くぼみ、破損)	販売店に連絡。
本体下に黒い粉が落ちる。	トレーニングによる走行ベルト表面の消耗やトレーニングシューズ靴底の消耗。	マシンの付近を定期的に掃除機をかける。
スタートするとラジオなどに雑音が入る。	モーターなどから発生する電氣的なノイズの影響を受ける。	電源プラグを本機と異なるコンセントに接続する。 ラジオ等の機器を本機から遠ざける。
脈拍が表示されない。	1). グリップセンサーの場合。 A. 左右のセンサー部を手で掴んでいますか。 B. 手のひらが乾燥していませんか。 2). ハートレートセンサーの場合。 A. 衣服の上からセンサーをしていませんか。 B. お肌が乾燥していませんか。	1) グリップセンサーの場合。 A. 左右のセンサー部を手で掴む。 B. 手のひらを少量霧吹き等で湿らせる。 2). ハートレートセンサーの場合。 A. 直接肌にセンサーベルトを当てるようにする。 B. センサーベルト内側を少量霧吹き等で湿らせてセンサーベルトを肌に付ける。

エラー表示につきましては各機種取扱説明書をご覧ください。

# 展開図





## 商品仕様

名称	ヘルスジョガー
形式	HJ-2017
電源	AC100 15A 50/60Hz
傾斜角度	約 1.3 度 一定
設定速度	約 0.8~12km/h
時間	カウントアップ:0 分 00 秒~99 分 00 秒 カウントダウン:99 分 00 秒~0 分 00 秒
距離	積算表示:0.0Km~99.9Km
消費カロリー	積算表示:0~999kcal
緊急停止用安全キー	マグネット式
走路サイズ	(約)幅 400×長さ 1160mm
本体サイズ	使用時:(約)幅 725×高さ 1300mm×長さ 1500mm 折りたたみ時(約)幅 725×高さ 1400mm×長さ 680mm
本体重量	約 51.5Kg
最大使用体重	100Kgまで
使用環境温湿度	+10~+35℃ 30~80%RH
保存環境温湿度	+10~+50℃ 20~90%RH
使用モーター	DC1.25HP
付属品	工具(六角レンチ)、安全キー、シリコンスプレー 取扱説明書(品質保証書付き)
原産国	中国

※ お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

## 保証規定(家庭用)

- 1.) 取扱説明書に従った正常な使用状態で、お買い上げ後 2 年以内に故障した場合には無償にて不具合箇所のパーツを保証致します。(走行ベルト、ドライブベルト、手すり、パネルは対象外)
- 2.) 無償修理期間内に故障してしまった場合は、商品に本書を添えてご購入店または(株)中旺ヘルスへ依頼してください。
- 3.) 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
  - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - 訪問での修理依頼
  - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧による故障および損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書にお買い年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - 消耗品(走行ベルト、ドライブベルト、手すり、パネル)
  - 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
  - 車両や船舶等に設置された場合に起因する故障および損傷。
  - 営業、業務用に使用した場合による故障および損傷。
- 4.) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 5.) この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### 品質保証書

このたびは、中旺ヘルス健康機器を、お買い求めいただきありがとうございました。本機は厳重な検査を行い高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、2 年間は無償にてパーツの提供を致します。但し消耗品除く

※本機の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。  
This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印して  
いただいでください

品名：ヘルスジョガー

形式：HJ-2017

ご芳名：

ご住所：

TEL. ( )

お買い上げ店名：

住所：

TEL. ( )

お買い上げ年月日： 年 月 日

シリアルNo.

「中旺ヘルス製品についてのお問い合わせ・ご相談は「中旺ヘルスお客様相談センター」

本社：〒452-0011 愛知県清須市西枇杷島町城並 3 丁目 2-2

E-mail：[hj@jp-chuoh.com](mailto:hj@jp-chuoh.com)

URL：[www.jp-chuoh.com](http://www.jp-chuoh.com)

東京営業所：TEL：(03)3835-4399

TEL：(052)501-2577

FAX：(052)501-2588

2018年 12 月